

計画段階評価について
山陰道（小^こ浜^{はま}～田^た万^ま川^{がわ}）
意見聴取結果（第3回）

令和2年11月18日

国土交通省 中国地方整備局

1. 第3回意見聴取の概要	・・・	2
2. 第3回意見聴取の結果	・・・	5
3. アンケートクロス集計結果	・・・	13

1. 第3回意見聴取の概要

1. 意見聴取の概要

■ 郵送アンケート

※対象地域の住民、事業所へ郵送配布

【 回答はがき 】

〒500-0000 島根県浜田市須子3丁目217番地
国土交通省 中国地方整備局
浜田河川国道事務所 調査設計課 ④

※返送先は必ずこの住所にしてください。

今後の流れ

1. 調査票の回収
2. 調査結果の分析
3. 計画の策定
4. 実施の進捗報告

▲アンケート回答はがき

■ WEBアンケート実施

計画検討に関する第3回アンケート「山陰道(須子～田万川)の計画」について

山陰道は、鳥取県鳥取市から鳥取県を経由し山口県下関市に至る総延長約380kmの高速特種道路であり、山陰地方の地域経済の活性化、観光の振興、災害時の避難ネットワークの確保などを目的として整備を進めています。今回のアンケートは、須子～田万川間のうち、小浜～田万川間の対応方針を決定するための調査です。前回のアンケートと併せて、ご意見を伺います。

【拡大図】

調査対象区間
調査対象区間
調査対象区間

▲WEBアンケート画面

■ 常設アンケート

※道の駅、官公庁等計40箇所を設置



▲設置状況(山口県萩土木建築事務所)

■ インタビュー調査

※道の駅、観光施設等21箇所で開催



▲実施状況(道の駅ゆとりパークたまがわ)



▲実施状況(松陰神社)

■ 意見聴取の広報状況

・新聞広告

国土交通省からのお願い
山陰道(須子～田万川)の道路計画
第3回 アンケート調査
実施中
「小浜～田万川」の対策案について
アンケート実施期間 令和2年3月19日～5月11日(月)まで

アンケート調査の目的

山陰道は、山陰地方の地域経済の活性化、観光の振興、災害時の避難ネットワークの確保などを目的として整備を進めています。今回のアンケートは、須子～田万川間のうち、小浜～田万川間の対応方針を決定するための調査です。前回のアンケートと併せて、ご意見を伺います。

アンケート調査の方法

毎日お住まいの地域に「折込アンケート」が配布されます。折込アンケートは、お住まいの地域に配布され、お住まいの地域に配布されたアンケートを回収し、ご意見を伺います。ご意見は、お住まいの地域に配布されたアンケートに記入し、郵便で郵送していただきます。(途中は不要です。)

アンケート調査の区域

調査対象区域は、山陰道(須子～田万川)のうち、小浜～田万川間の区間です。

アンケート調査の期間

令和2年3月19日～5月11日(月)まで

アンケート調査にご協力をお願いします!

<http://www.cgr.mlit.go.jp/hamada/sanin/>

▲新聞により配布する折込広告

・広報誌(市報)

はぎ 4
山陰道(益田市須子～田万川間)アンケート調査にご協力を!
5/11まで

須子～田万川間のうち、小浜～田万川間の対応方針(案)について、皆様のご意見をお聞かせください。

- 田万川・須子地域にお住まいの方・事業者の方
ご自宅や事業所にアンケート用紙が郵送されます。
- 道路利用者の方
市内道の駅・役所本庁・各総合事務所にてアンケート用紙を設置しています。

どなたでもアンケートに回答できます。
国土交通省 HP ▶

国土交通省 中国地方整備局
浜田河川国道事務所 調査設計課 ☎0855-22-2480

▲広報はぎ 2020年4月号

・ケーブルテレビ

つなげよう山陰道
～アンケートにご協力ください～

郵便で配達される封筒に入っているハガキに回答を記入してポストに投函(5月11日まで)

益田市ケーブルテレビ
～アンケート調査～

▲益田市ケーブルテレビ

・ホームページ、SNS

島根県
高速道路推進課
新着情報
山陰道(須子～田万川)の第3回アンケート調査にご協力ください

島根県HP
山陰道(須子～田万川)の第3回アンケート調査にご協力ください

益田市企画課広報係 @Fresh masudaNOW 3月30日
益田市から山口県側に伸びる山陰道(須子～田万川)が計画されています。このうち、小浜から田万川の区間について国土交通省がアンケート調査を実施しています。このアンケート調査は、山陰道の整備計画に地域の皆さんの声を反映させるための大変重要な調査です。アンケートへのご協力をお願いします。

▲SNS

1. 意見聴取の概要

■意見聴取の項目

＜アンケート配布範囲＞ ※配布数は地域住民アンケート



■調査期間

(アンケート) 令和2年3月～令和2年5月

(ヒアリング) 令和2年6月～令和2年7月

■調査方法

◎アンケート：

①住民は全戸配布、事業所は郵送配布

②上記以外は市町役場や道の駅等へのアンケート用紙の設置

③HP上でのWEBアンケート

◎ヒアリング：対面方式にて実施

■対象

地域住民アンケート（全戸配布・郵送）：約22,000世帯		
益田市	旧益田市	約19,700世帯
萩市	旧田万川町	約2,300世帯
	旧須佐町	
事業所アンケート（郵送）：約2,000社		
地域住民アンケート全戸配布エリアに本店・支店・営業所のある企業		約2,000社
道路利用者アンケート（常設）：40箇所		
常設	「道の駅」、官公庁等	40箇所
道路利用者アンケート（インタビュー）：21箇所		
「道の駅」	島根県(益田市、津和野町、浜田市)、山口県(萩市、阿武町)に位置する「道の駅」	14箇所
観光地等	島根県(益田市、津和野町)、山口県(萩市)にある観光施設、空港	7箇所
ヒアリング：53団体（島根県、山口県、益田市、萩市、阿武町）		
自治体、警察署・消防署・病院、農協、漁協、森林組合、商工会議所、観光協会、地元企業・工場、バス事業者、運送業者、地域外企業		

■質問内容

【質問票】
(回答はがきに記載してください)

提示した小浜～田万川間の対策案に対して、みなさまが配慮すべき(重要)と思う事項等についてご意見をいただき、対応方針(案)決定の参考にします。

質問1 今回、3つの対策案を検討していますが、地域にとって望ましい案を決定する際に、何が重要だと思いますか。
以下の項目①～⑭から特に配慮すべき(重要)項目について最大3つまで選び、番号とその理由・内容をお書き下さい。

- ① 通行止め時の代替路が確保できること。
- ② 交通の安全性が向上できること。
- ③ 主要な産業拠点への速達性が向上できること。
- ④ 観光地間(益田～萩間)の速達性が向上できること。
- ⑤ 救急医療機関へ早く、確実に搬送できること。
- ⑥ 大気質や騒音等の生活環境への影響が改善すること。
- ⑦ 自然環境への影響が小さいこと。
- ⑧ 移転等が必要な家屋が少ないこと。
- ⑨ 集落との連絡性に優れること。
- ⑩ 工事中の交通規制等が少ないこと。
- ⑪ 建設に要する費用が少ないこと。
- ⑫ 効果発現までの期間が短いこと。
- ⑬ 維持管理に要する費用が少ないこと。
- ⑭ その他(上記以外で重視すべき項目についてご自由にお書き下さい)

質問2 道路整備をすることによる懸念や配慮した方が良いと思う事(周辺への影響、経済性等)についてご意見などございましたら、ご自由にお書き下さい。

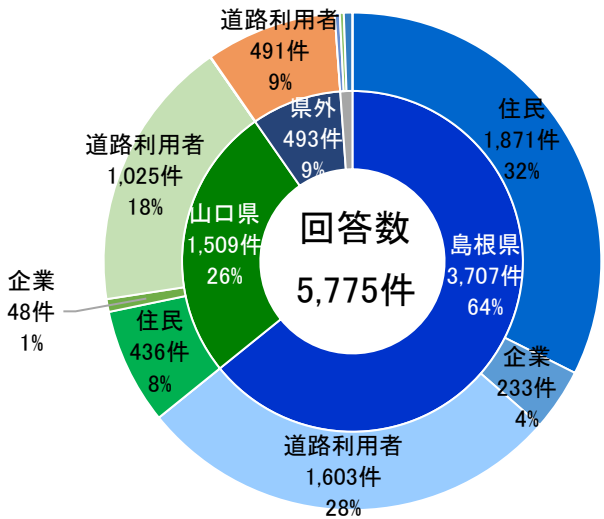
2. 第3回意見聴取の結果

2. 第3回意見聴取の結果

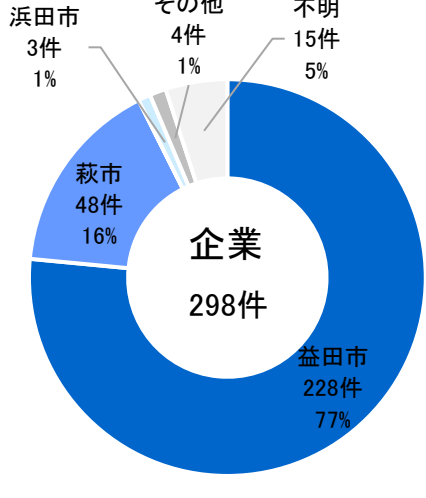
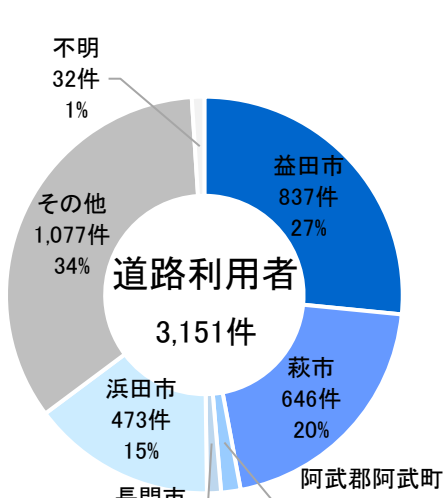
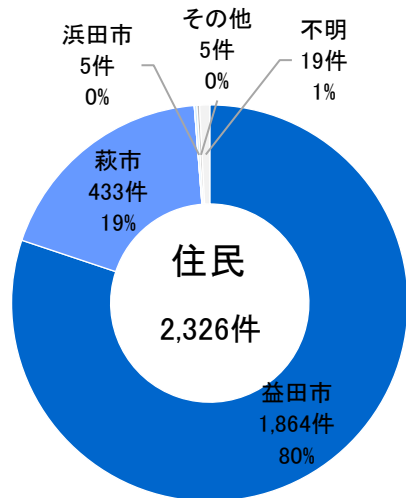
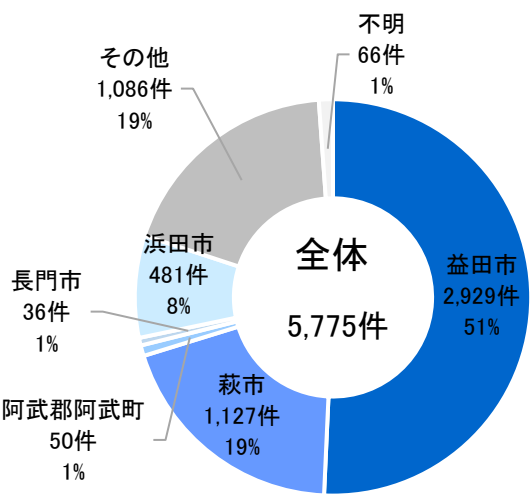
1) 属性①

○住民約2,300人、道路利用者約3,200人、事業所約300社から合計約5,800件の意見聴取を実施。
 ○回答者のうち、益田市からの回答が約5割を占める。

アンケート回収状況



住所

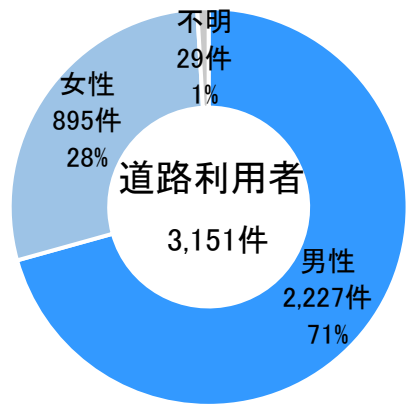
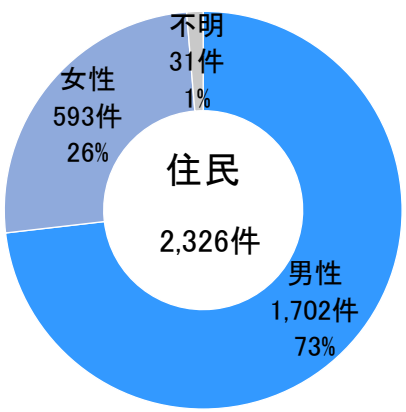
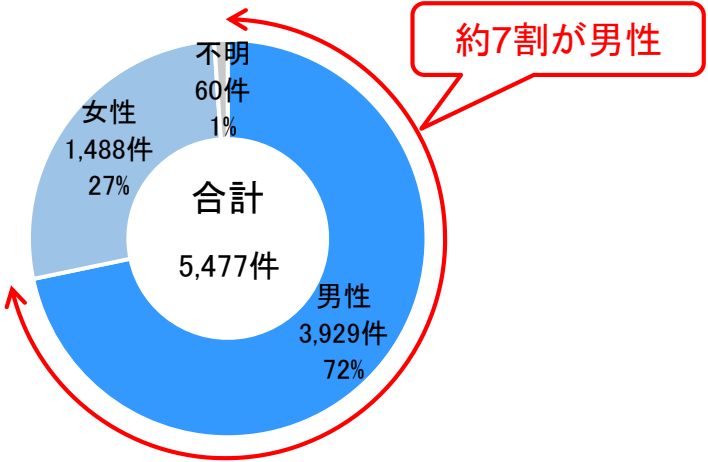


2. 第3回意見聴取の結果

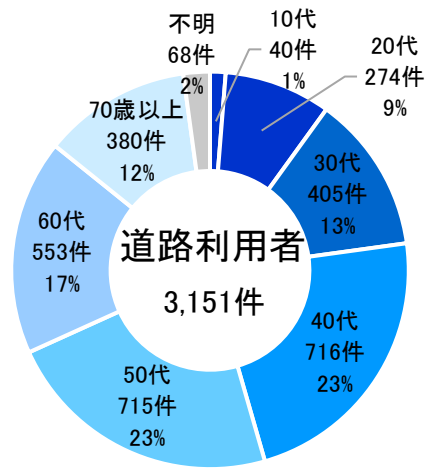
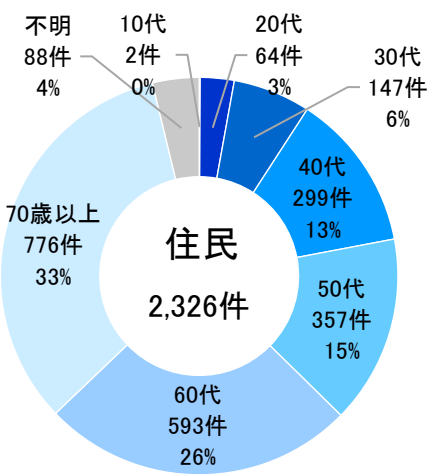
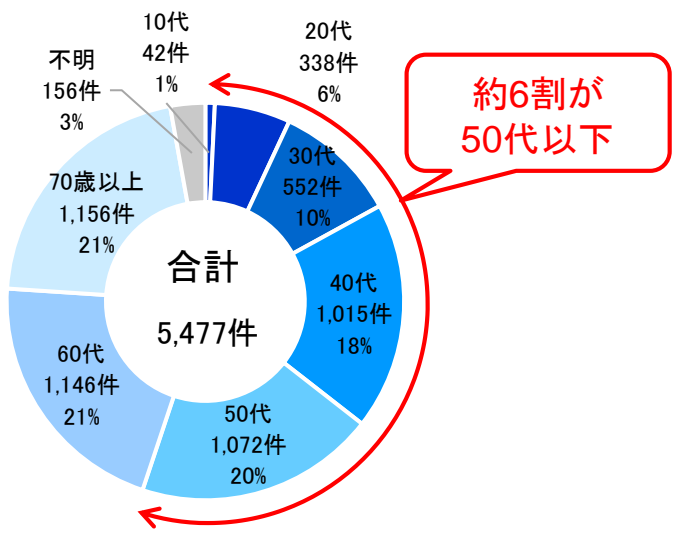
1) 属性②

○回答者のうち性別は約7割が男性であり、年代としては50代以下が約6割を占める。

性別



年齢



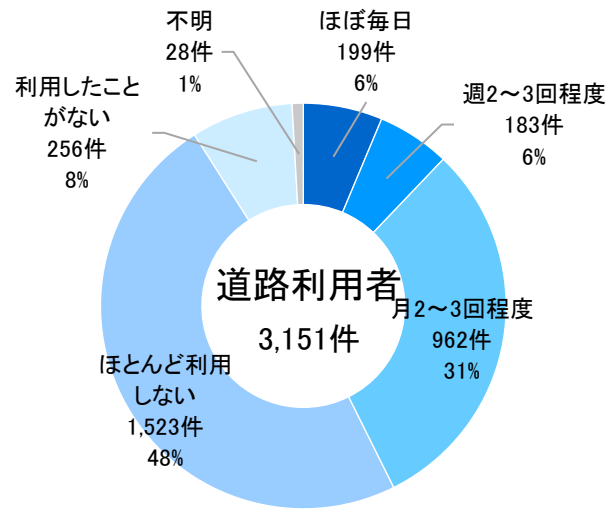
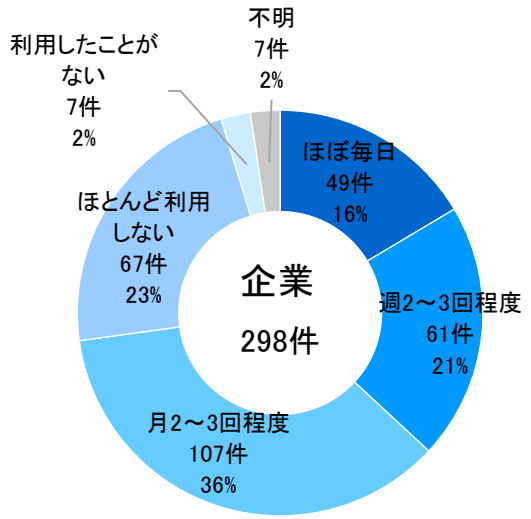
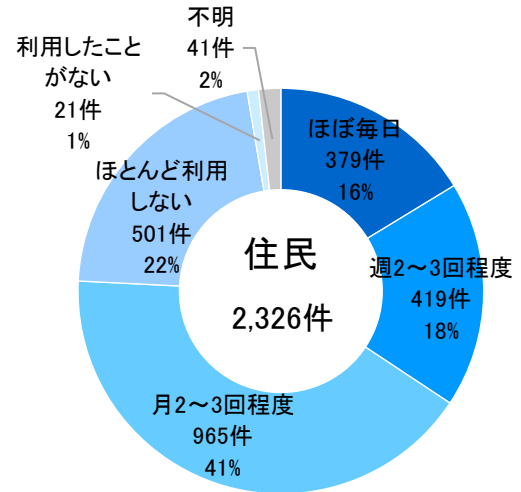
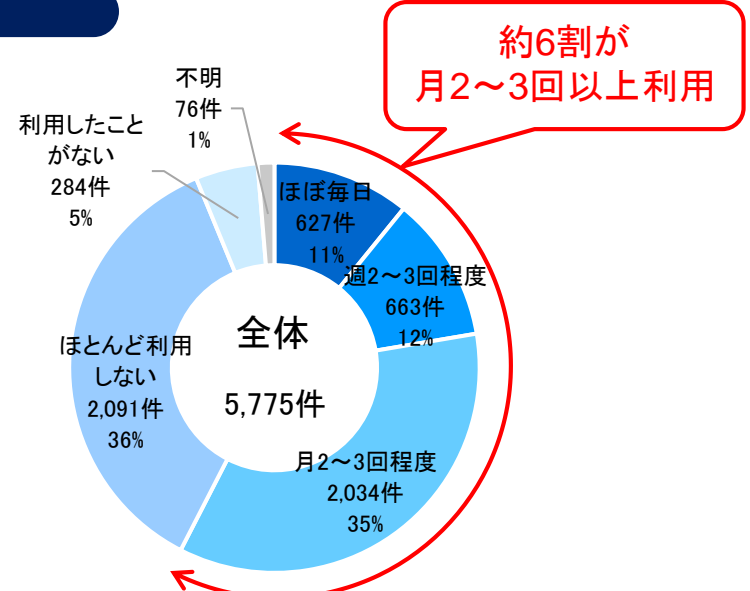
※事業所は、性別・年齢に回答していない

2. 第3回意見聴取の結果

1) 属性③

○回答者のうち約6割が当該区間(須子～田万川)を「月2～3回以上利用している」と回答。

利用頻度



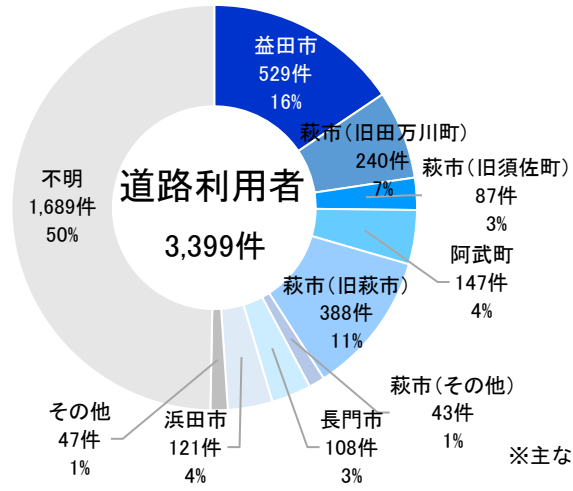
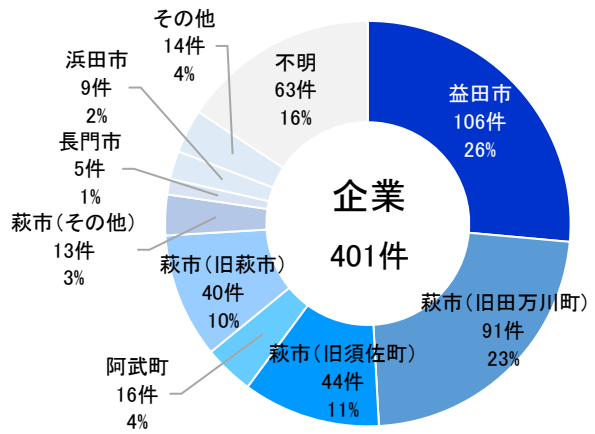
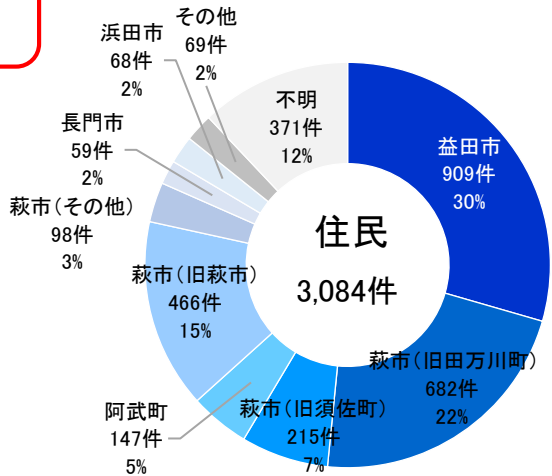
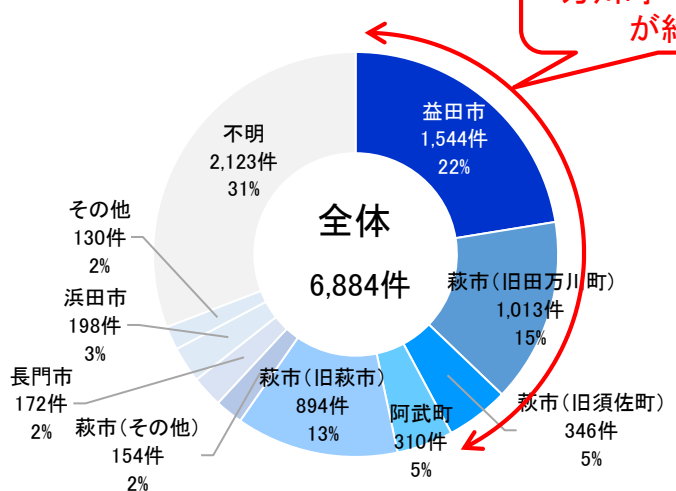
2. 第3回意見聴取の結果

1) 属性⑤

○主な目的地は益田市と萩市(旧田万川町・旧須佐町)で約4割を占めている。

主な目的地

益田市・萩市(旧田万川町・旧須佐町)が約4割



※主な目的地は複数回答

2. 第3回意見聴取の結果

2) 【質問①】特に重視すべき項目

- 対策案を検討する際に重視すべきだと思う項目について、回答属性に共通して「道路整備による効果・改善点」に挙げた項目を重視する声が多く、中でも「①通行止め時の代替路が確保できること」、「②交通の安全性が向上できること」を重視する声が多い。
- 上記に加え、事業所は「③主要な産業拠点への速達性が向上できること」も重視する声が多い傾向が見られる。
- 「⑭その他」の項目は少なく、アンケートで設定した項目により、特に重視する項目を確認することができる。

【質問1】 重視すべき項目①～⑭のうち、特に重視すべきと思われる項目について、番号とその理由・内容をお書きください。

特に重視すべきと思われる項目		全体 (回答数:5,505票)			
		住民 (回答数:2,130票)	企業 (回答数:272票)	道路利用者 (回答数:3,103票)	
効果・改善点 道路整備による	① 通行止め時の代替路が確保できること。(3,016件)	55%	53%	58%	56%
	② 交通の安全性が向上できること。(2,409件)	44%	39%	36%	47%
	③ 主要な産業拠点への速達性が向上できること。(1,550件)	28%	27%	37%	28%
	④ 観光地間(益田～萩間)の速達性が向上できること。(2,148件)	39%	38%	40%	40%
	⑤ 救急医療機関へ早く、確実に搬送できること。(2,140件)	39%	44%	44%	35%
配慮すべき点	⑥ 大気質や騒音等の生活環境への影響が改善すること。(191件)	3%	3%	3%	4%
	⑦ 自然環境への影響が小さいこと。(626件)	11%	11%	7%	12%
	⑧ 移転等が必要な家屋が少ないこと。(271件)	5%	8%	6%	3%
	⑨ 集落との連絡性に優れること。(324件)	6%	7%	6%	5%
	⑩ 工事中の交通規制等が少ないこと。(569件)	10%	11%	13%	10%
	⑪ 建設に要する費用が少ないこと。(533件)	10%	11%	10%	8%
	⑫ 効果発現までの期間が短いこと。(496件)	9%	10%	8%	8%
	⑬ 維持管理に要する費用が少ないこと。(499件)	9%	11%	11%	8%
⑭ その他(144件)	3%	3%	1%	3%	

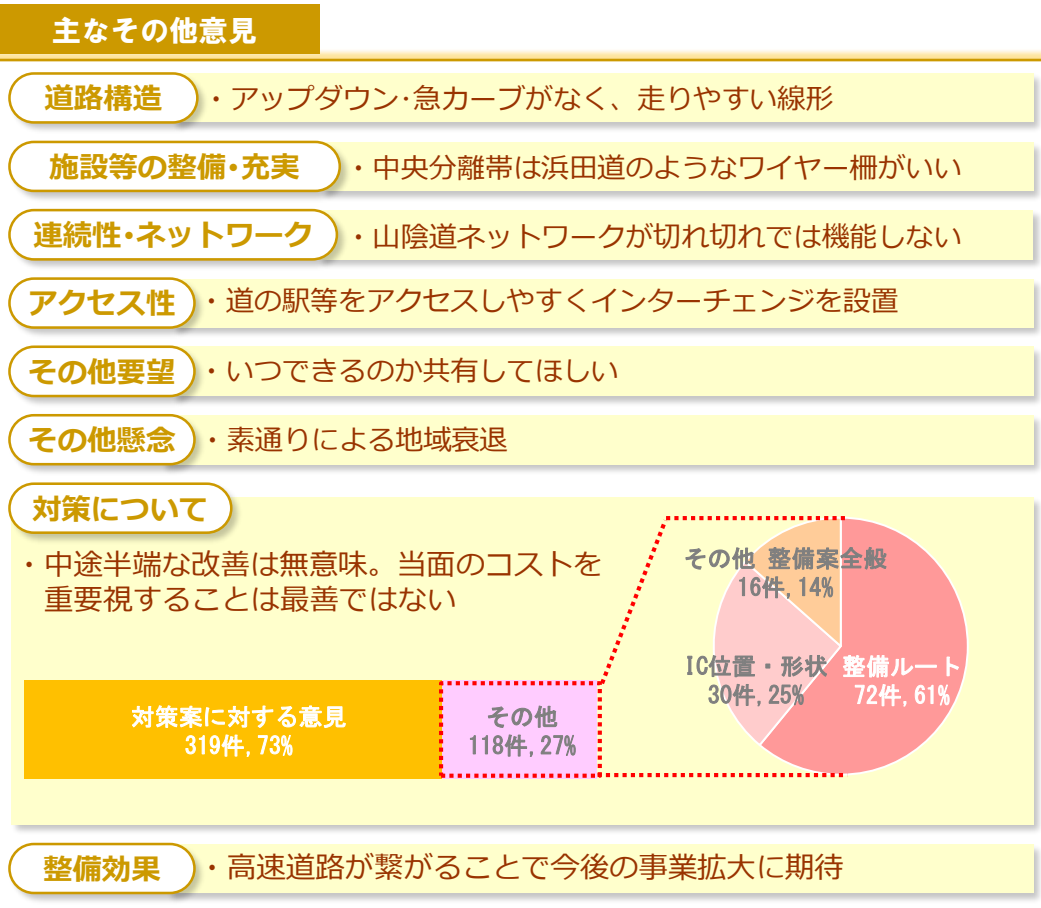
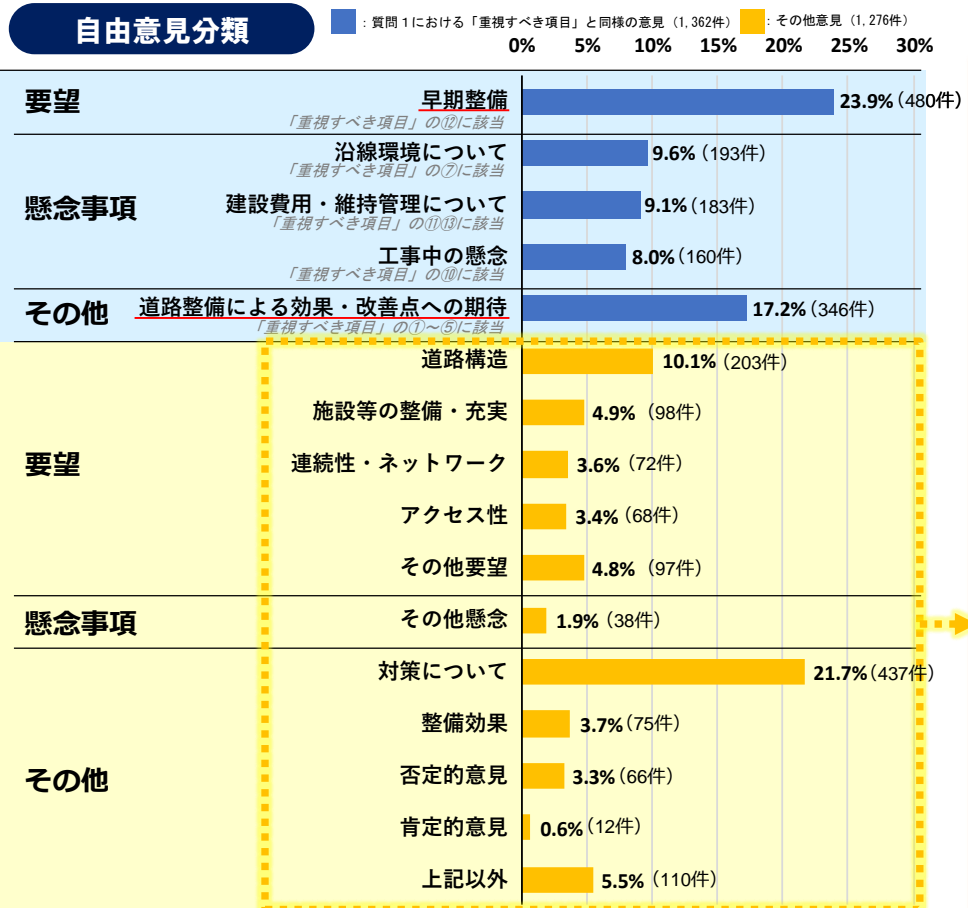
※質問1に回答した人を対象に集計しているため、全回答者数5,775人と一致しない。割合は、質問1の回答票数(例えば全体の場合:5,505票)に対する各項目回答割合を示している。11

2. 第3回意見聴取の結果

3) 【質問②】自由意見

- 自由意見についてはアンケートで設定した「重視すべき項目」と同様の意見が多数であり、その中でも「効果の早期発現」「道路整備による効果・改善点」等に関する意見が多い。
- 上記以外では「対策について」の意見が多い。
- その他の意見として「地域の主要施設へのアクセス性」「沿道の衰退を危惧」「中途半端な対策は無意味」「高速道路が繋がることで今後の事業拡大に期待」等の様々な観点の意見が得られた。

【質問2】道路整備をすることによる懸念事項や配慮した方が良くと思う事項について意見などありましたら、ご自由にお書きください。



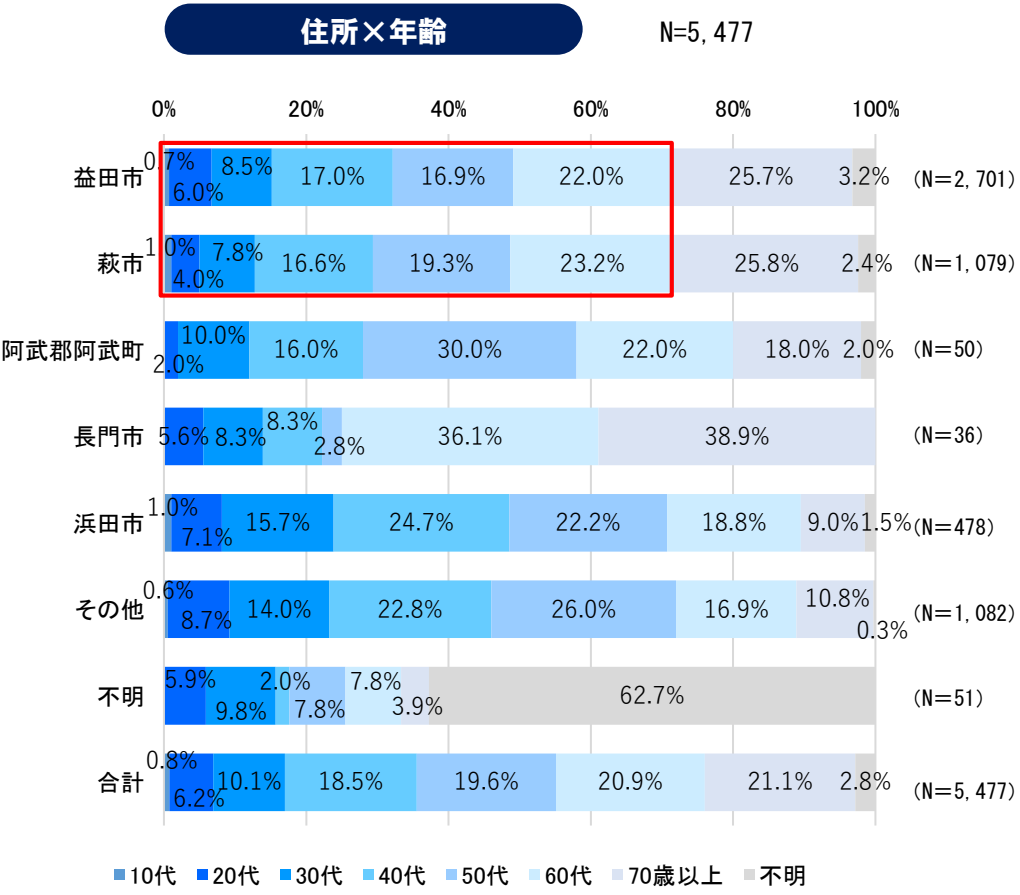
※総回答者数5,775人のうち質問2の回答票数(2,012票)に対する割合である。
 ※質問2は自由回答であり複数回答があるため、全項目の意見数合計は質問2の回答票数の2,012票と一致しない。

3. アンケートクロス集計結果

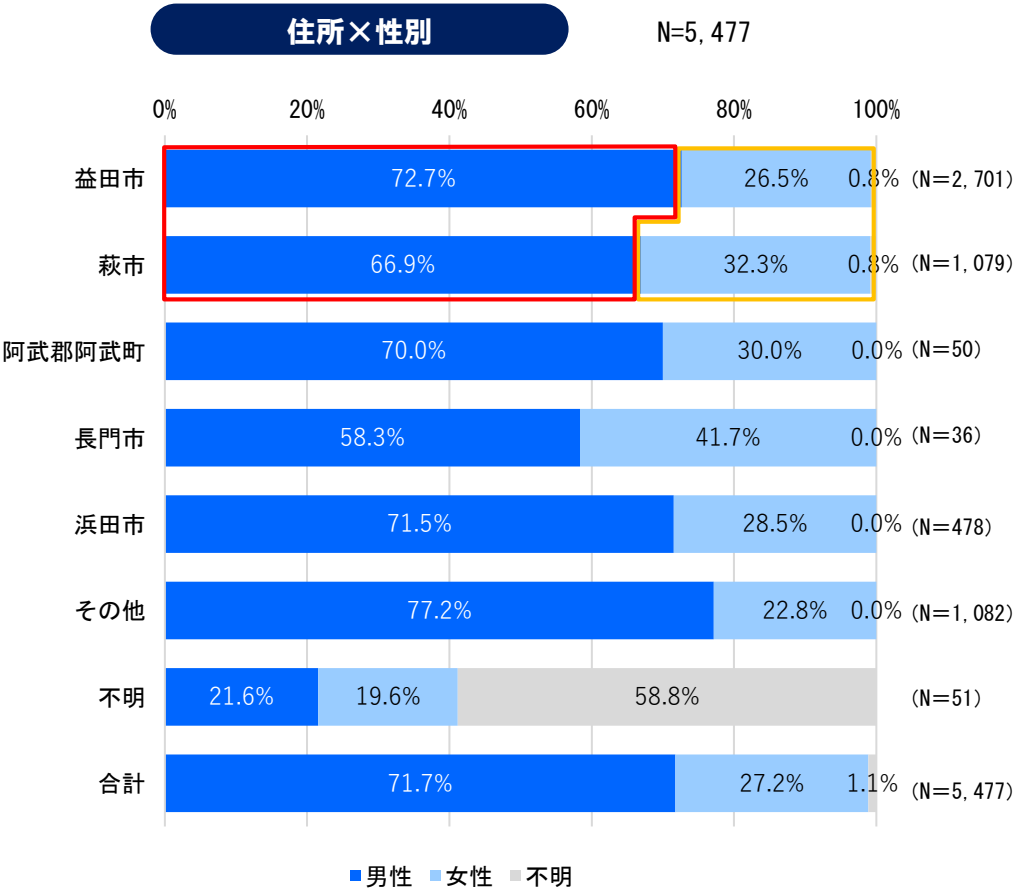
3. 第3回意見聴取の結果

1) 属性分析① (住所別)

○住所別年齢は、対象区間沿線市町である益田市と萩市の構成は約7割が60代以下である。
 ○住所別性別は、概ね男性が7割、女性3割である。



※住民アンケート、道路利用者アンケートの集計結果
 ※企業アンケート (N=298) を除く

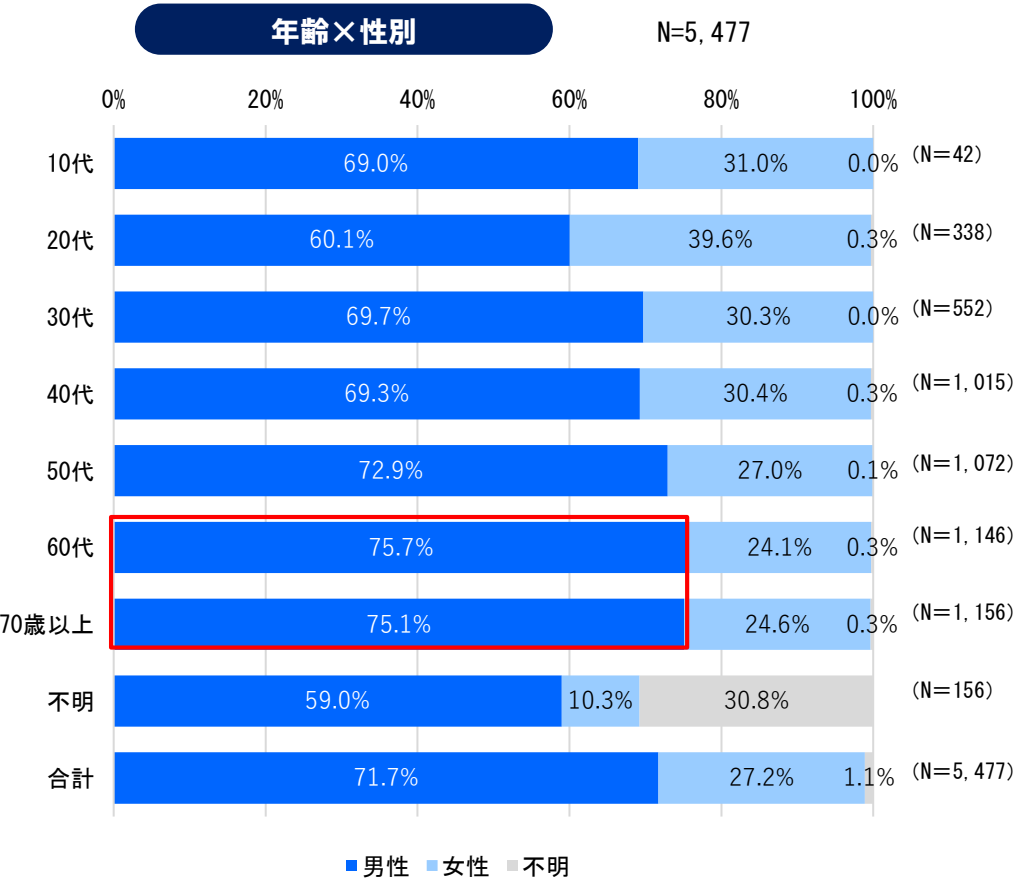
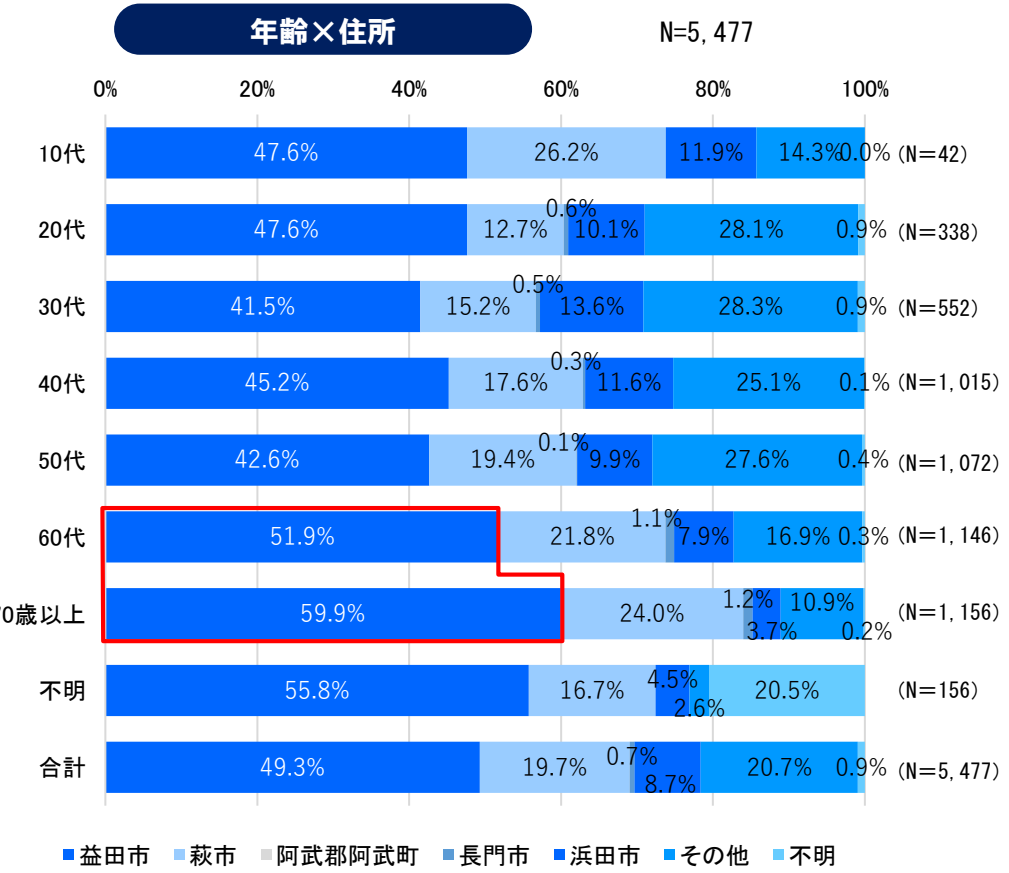


※住民アンケート、道路利用者アンケートの集計結果
 ※企業アンケート (N=298) を除く

3. 第3回意見聴取の結果

2) 属性分析② (年齢別)

○年齢別居住地は、高齢になるほど益田市の割合が高い。
 ○全年齢において男性の回答割合が高い中で、高齢になるほど、男性の回答割合が増加傾向である。



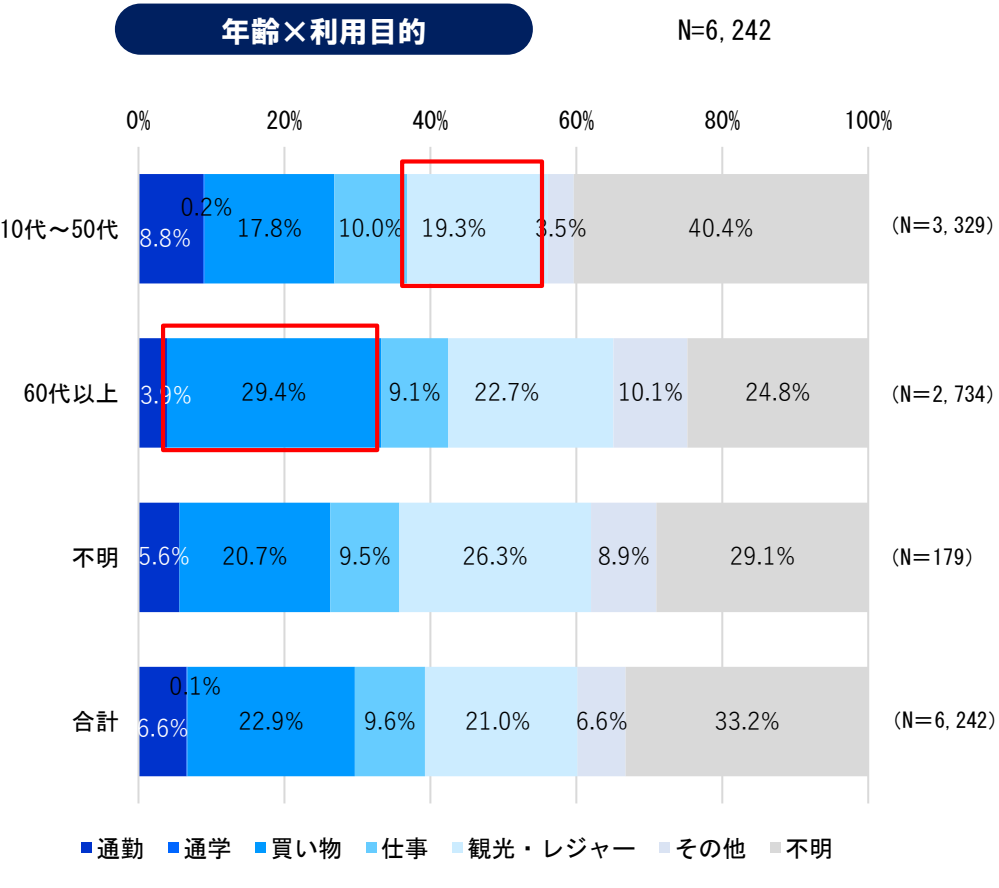
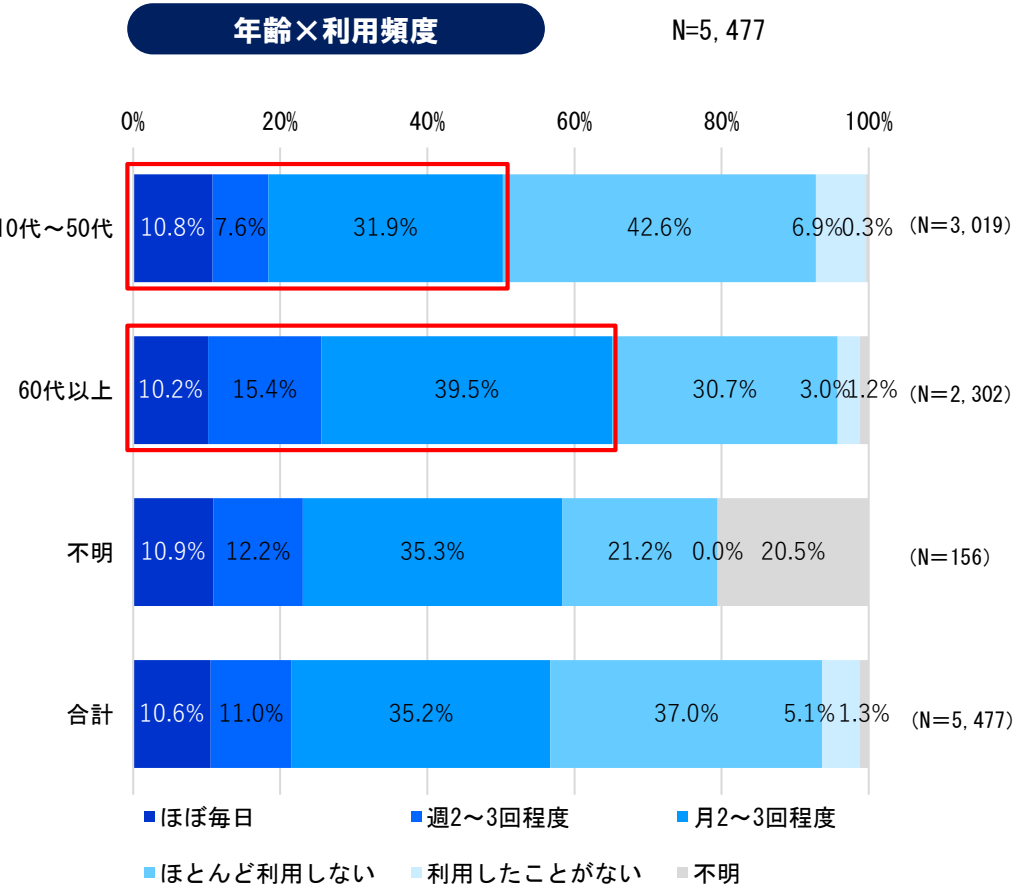
※住民アンケート、道路利用者アンケートの集計結果
 ※企業アンケート (N=298) を除く

※住民アンケート、道路利用者アンケートの集計結果
 ※企業アンケート (N=298) を除く

3. 第3回意見聴取の結果

3) 属性分析③ (年齢別)

○年齢別利用頻度は、10代～50代は「月2～3回以上利用する」割合が5割に対して、60代以上は約7割となる。
 ○年齢別利用目的は、10代～50代は観光・レジャー、60代以上は買い物が高い。



※住民アンケート、道路利用者アンケートの集計結果
 ※企業アンケート (N=298) を除く

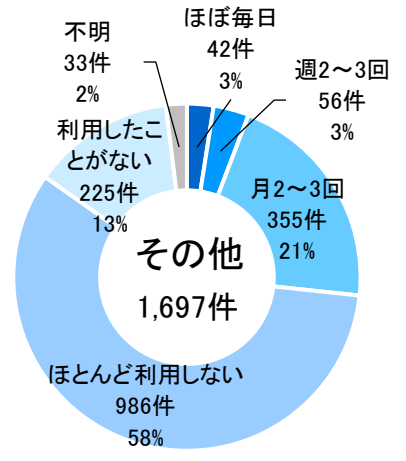
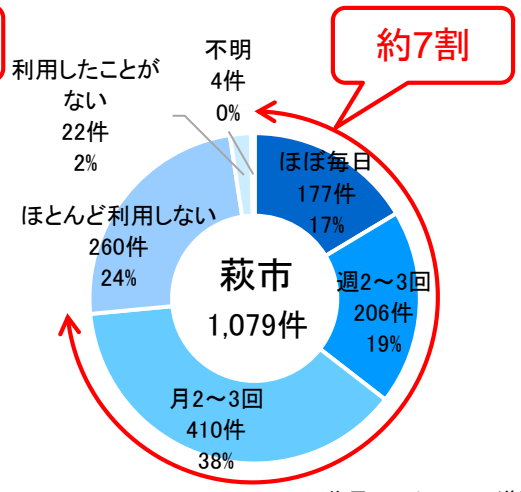
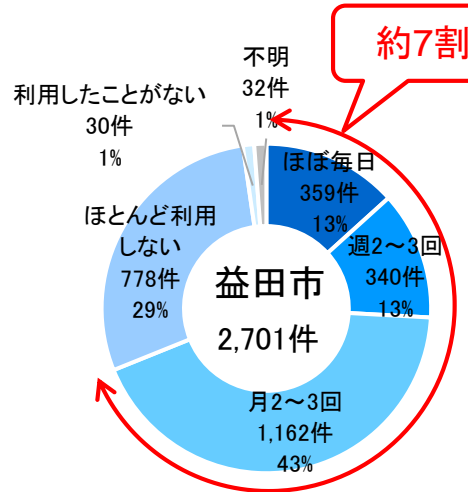
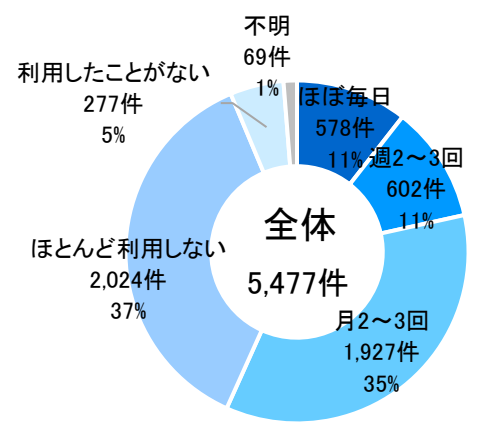
※住民アンケート、道路利用者アンケートの集計結果
 ※企業アンケート (N=298) を除く
 ※利用目的は複数回答のため上記合計値N=5,477とは合わない

3. 第3回意見聴取の結果

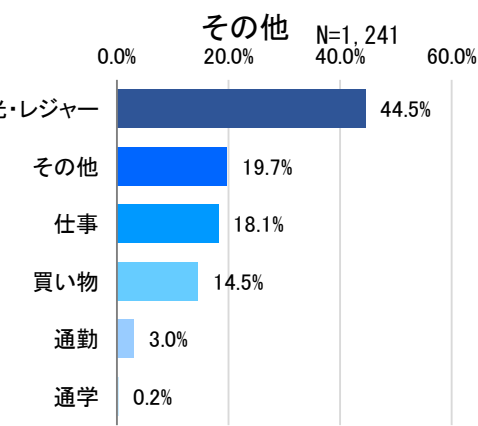
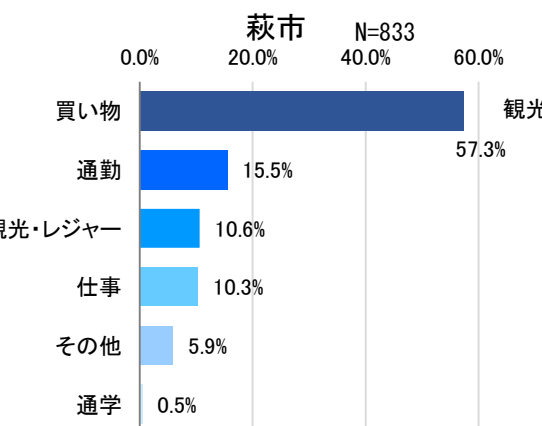
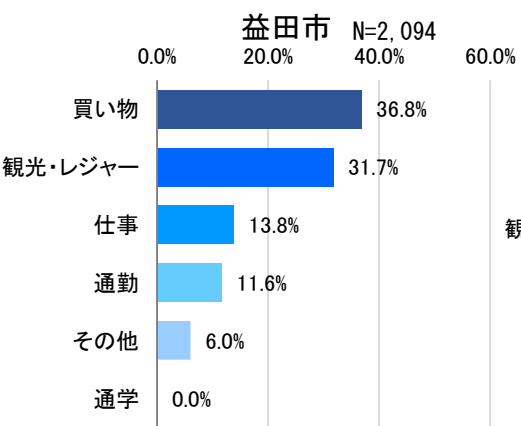
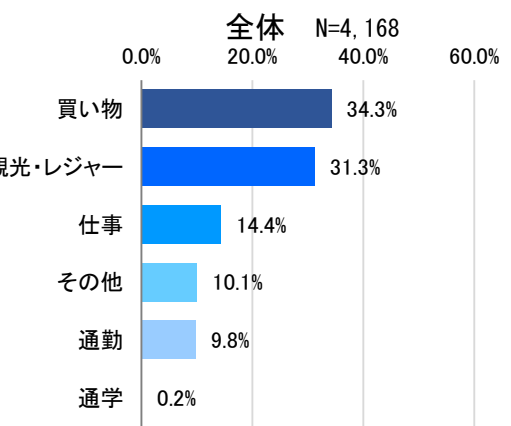
4) 利用頻度・目的分析 (住所別)

○住所別の利用頻度は、益田市・萩市の回答者の7割以上は月2～3回以上利用している。
 ○住所別利用目的は、沿線市町である益田市は「買い物」「観光・レジャー」、萩市は「買い物」「通勤」の割合が高い。

住所×利用頻度



住所×利用目的



※住民アンケート、道路利用者アンケートの集計結果
 ※企業アンケート (N=298) を除く

※住民アンケート、道路利用者アンケートの集計結果
 ※利用目的は複数回答
 ※不明を除く

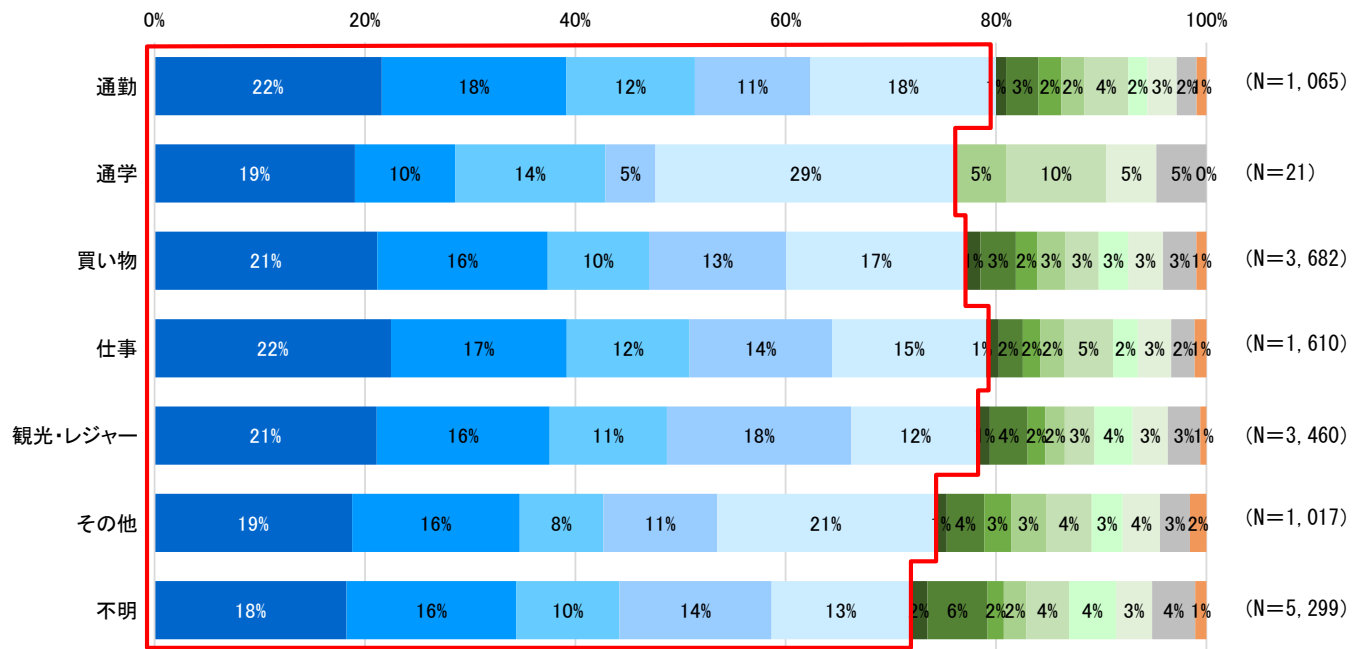
3. 第3回意見聴取の結果

5) 特に重視すべき項目の分析① (利用目的別)

○全体的に「①～⑤道路整備による効果・改善点」を重視する割合が高く、その中「①通行止め時の代替え路が確保できること」が最も重視される。

重視すべき項目×利用目的

N=16,154



- 道路整備による効果・改善点 ——
- 1 通行止め時の代替え路が確保できること。
 - 2 交通の安全性が向上できること。
 - 3 主要な産業拠点への速達性が向上できること。
 - 4 観光地間（益田～萩間）の速達性が向上できること。
 - 5 救急医療機関へ早く、確実に搬送できること。

- 配慮すべき点 ——
- 6 大気質や騒音等の生活環境への影響が改善すること。
 - 7 自然環境への影響が小さいこと。
 - 8 移転等が必要な家屋が少ないこと。
 - 9 集落との連絡性に優れること。
 - 10 工事中の交通規制等が少ないこと。
 - 11 建設に要する費用が少ないこと。
 - 12 効果発現までの期間が短いこと。
 - 13 維持管理に要する費用が少ないこと。
 - 14 その他

※重視すべき項目、利用目的ともに複数回答

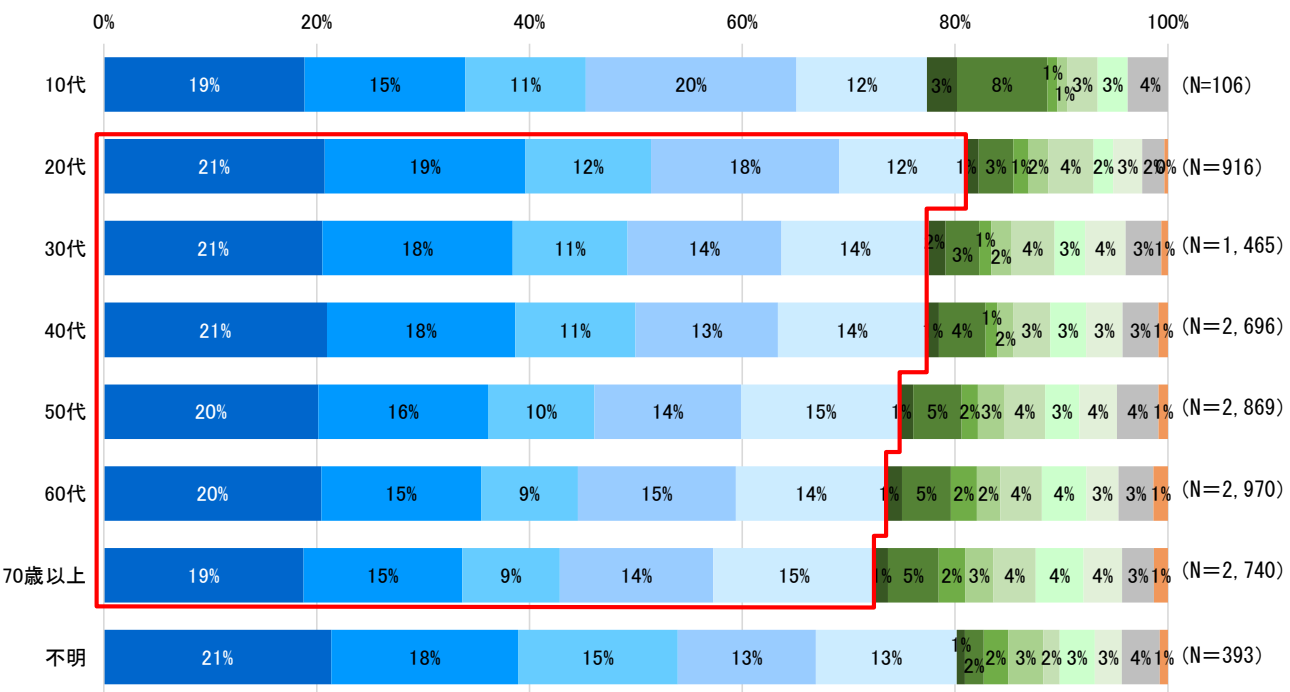
3. 第3回意見聴取の結果

6) 特に重視すべき項目の分析② (年代別)

○全体的に「①～⑤道路整備による効果・改善点」を重視する割合が高いものの、年齢の増加とともに「⑥～⑬配慮すべき点」を重視する割合が増加している。

重視すべき項目×年代

N=14,155



- 道路整備による効果・改善点 ——
- 1 通行止め時の代替路が確保できること。
 - 2 交通の安全性が向上できること。
 - 3 主要な産業拠点への速達性が向上できること。
 - 4 観光地間（益田～萩間）の速達性が向上できること。
 - 5 救急医療機関へ早く、確実に搬送できること。

- 配慮すべき点 ——
- 6 大気質や騒音等の生活環境への影響が改善すること。
 - 7 自然環境への影響が小さいこと。
 - 8 移転等が必要な家屋が少ないこと。
 - 9 集落との連絡性に優れること。
 - 10 工事中の交通規制等が少ないこと。
 - 11 建設に要する費用が少ないこと。
 - 12 効果発現までの期間が短いこと。
 - 13 維持管理に要する費用が少ないこと。
 - 14 その他

※住民アンケート、道路利用者アンケートの集計結果
 ※重視すべき項目は複数回答

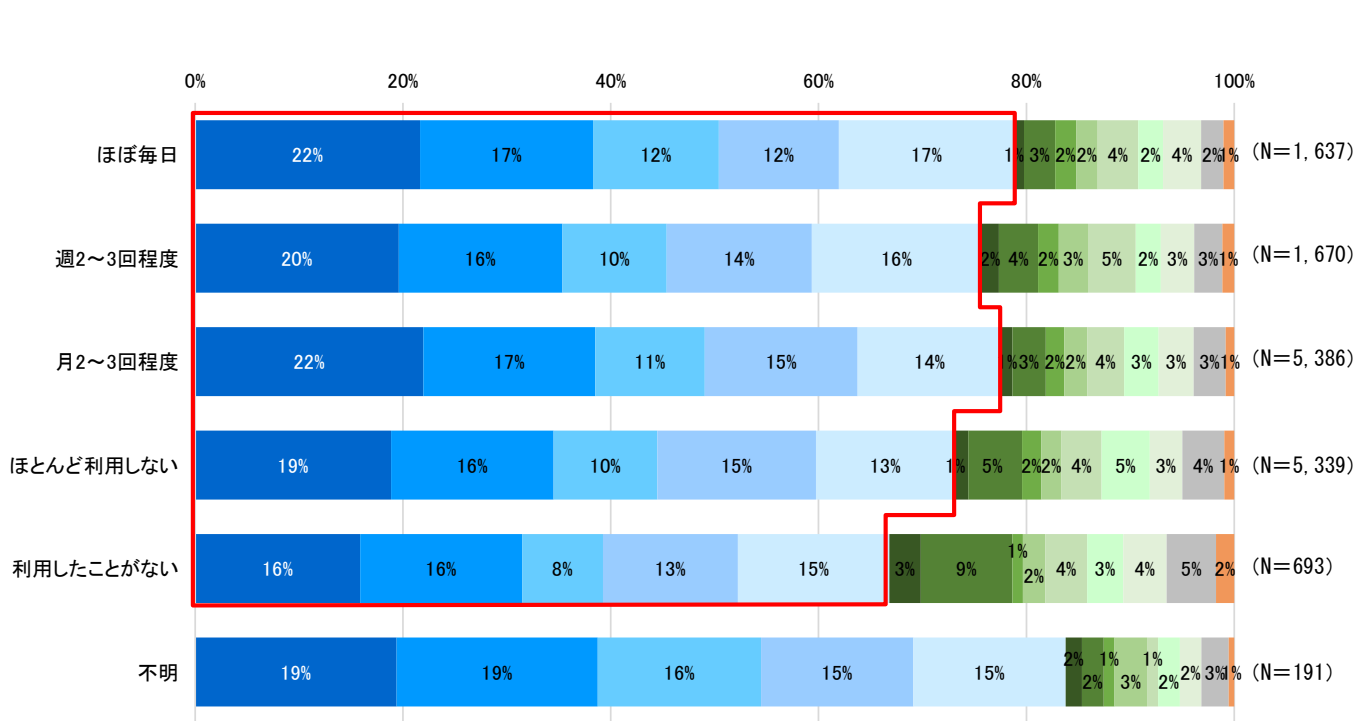
3. 第3回意見聴取の結果

7) 特に重視すべき項目の分析③ (利用頻度別)

○利用頻度が高いほど、「①～⑤道路整備による効果・改善点」を重視する割合が高い。その中に、「①通行止め時の代替路が確保できること」「②交通の安全性が向上できること」について特に重視される傾向にある。

重視すべき項目×利用頻度

N=14,916



- 道路整備による効果・改善点 ——
- 1 通行止め時の代替路が確保できること。
 - 2 交通の安全性が向上できること。
 - 3 主要な産業拠点への速達性が向上できること。
 - 4 観光地間（益田～萩間）の速達性が向上できること。
 - 5 救急医療機関へ早く、確実に搬送できること。

- 配慮すべき点 ——
- 6 大気質や騒音等の生活環境への影響が改善すること。
 - 7 自然環境への影響が小さいこと。
 - 8 移転等が必要な家屋が少ないこと。
 - 9 集落との連絡性に優れること。
 - 10 工事中の交通規制等が少ないこと。
 - 11 建設に要する費用が少ないこと。
 - 12 効果発現までの期間が短いこと。
 - 13 維持管理に要する費用が少ないこと。
 - 14 その他

※重視すべき項目は複数回答